

分かち合いが 世界を救う

シェア・ジャパン

目次

- 1 分かち合いが世界を救う はじめに
- 2 世界教師は、今この世に在る
- 4 世界教師の思い
 - わたしが再びあなたがたの中に現れる理由は数多い（メッセージ 第2信）
- 6 世界教師出現の背景——天体の運行と秘教哲学
 - (a) 「新しい時代」の天文学的事実
 - (b) 不朽の知恵の教え（秘教哲学）
 - (c) 世界教師出現の現状を伝える ベンジャミン・クレーム
- 12 人類は岐路に立っている（図）
- 13 共に平和に生きるか、完全に死滅するか（メッセージ 第11信）
- 14 商業至上主義が文明を破壊する
- 18 変容とアプローチ
- 19 分かち合いが世界を救う
- 22 新しいスーパーパワー —— 民衆の声
 - 「民衆の声は智恵の声である」
- 24 光の勢力の集合と UFO の役割
- 26 出現を知らせる不思議な“星”と時代の徴^{しるし}
- 28 史上最大の出来事 大宣言の日
- 30 新しい世界 マイトレーヤの出現であなたの未来が変わる
- 33 マイトレーヤの教え
- 36 世界への奉仕 伝導瞑想 —— 21 世紀のヨガ
- 39 さらに詳しい情報をお求めの方へ

分かち合いが世界を救う



はじめに

英国人ベンジャミン・クレームは、これまで40年以上“人類の未来は明るい”と説き、その根拠としての驚くべき情報を世界に発信してきました。『キリストの再臨』はお伽噺^{とぎばなし}でも、遠い未来の出来事でもなく、現在世界の舞台裏で進行している事実であり、いま世界的混乱を引き起こしている二つの文明——二千数百年続いた古い文明の崩壊と、誕生しつつある新しい文明——の相克^{そうこく}の狭間^{はざま}で苦悩する人類を導くために、間もなく全人類の世界教師“キリスト・マイトレーヤ”が公に出現すると語ってきました。そして、人類は彼の呼びかけに応え、分かち合いと正義と同胞愛に基づく新しい文明を築いていこうと語っています。

ベンジャミン・クレームは2008年12月12日、マイトレーヤの公の出現の先触れとして、国々の空に“星”のような不思議な発光体（UFO）が現れると発表し、彼が編集長を務める国際月刊誌『シェア・インターナショナル』に掲載するとともに、世界のメディアに向けてニュースリリースを送りました。間もなく世界各地で“星”の目撃情報がメディアやネット上に掲載され始めました。

そして2010年1月に、マイトレーヤは御身分を明かすことなく普通の人として御自身の出現の第一歩となる最初のテレビインタビューをアメリカで受けられました。その後現在までに（2015/6）、メキシコ、ブラジル、ロシア、中国で次々にインタビューに応じておられます。そのようにして人類の自由意志を侵すことなく、世界教師は徐々に静かに世界の前面にその姿を現して来られるでしょう。

この小冊子は、この情報に初めて触れる方々のために、ベンジャミン・クレームが伝える情報のエッセンスを抜粋、収録して提供するものです。さらに詳しい内容については、彼の著書ならびに彼が編集長を務める国際月刊誌『シェア・インターナショナル』を読まれることをお勧めします。

世界教師は、今この世に在る^あ

世界の宗教はそれぞれに新しい啓示をもたらす方を予言し、待望してきました。キリスト教徒はキリストの再臨を、仏教徒はマイトレーヤ仏（弥勒菩薩）の降臨を、ユダヤ教徒はメシアを、イスラム教徒はイマム・マーディを、ヒンズー教徒はクリシュナの再来を待ち望み、そして秘教徒は新しい時代の世界教師の到来を待っています。

名前は異なるが、事実、すべての宗教が待望する方は同じ方であり、その個人名をマイトレーヤといいます。

歴史を通じて、人類の進化は、完成の極みに到達なされた覚者方の一団によって背後から導かれてきました。永い間、覚者方は辺鄙な砂漠や高山脈に住まわれて、世界にいる彼らの弟子たちを通して働きかけてられました。この覚者方の構成する霊ハイアラキーの中心に世界教師、主マイトレーヤがおられます。今、新しい宝瓶宮の時代の始めに当たって、マイトレーヤは大勢の覚者方を引き連れて、全人類を導く大教師として、案内人として、日常の世界に戻って来られたのです。マイトレーヤの主な関心事は、今日の世界にある経済的、政治的、社会的の不均衡です。まず優先なさるのは、豊かな世界で餓死する何百万の人間を救うための行動、そして地球環境の浄化と惑星の再生への行動を呼びかけることでしょう。そして人類が分かち合いと正義と同胞愛に基づいた新しい文明を創造し、人間本来の神性を顕すようになるための道を示されるでしょう。

いかにして認知するか

1977年7月以来、マイトレーヤはロンドンのアジア系移民地区に拠点を置かれ、現代の問題に深い関心を持つ現代人として、貧しく虐げられた人々の仲間として住まれ、人間の自由意志を侵さずに徐々に御自身を公に顕していく過程を進めてられました。宗教の指導者ではなく、人類に現代の危機を乗り越える道を指し示す広義の意味の教育者です。尋常ならぬ霊力、広大無辺な視野、人類すべてを包含する計り知れない愛のゆえに、私たちはこの方を認知することができるでしょう。

マイトレーヤは出現の一步となる、テレビインタビューを始められ、御身分を明らかにせず、人類が選ぶべき道を、平和は正義と世界資源の公平な分かち合いを通して

のみ達成可能であることを語っておられます。

秘教の伝統では「キリスト」とは霊ハイアラキーの役職の名であり、過去2,000年間その役職に就かれた方の個人名をマイトレーヤと呼びます。つまり、キリスト・マイトレーヤです。マイトレーヤは神の新しい啓示^{たずさ}を携えて来られました。しかし当初は、基本的にはわれわれがすでに知っていること、すなわち正しい人間関係が生活の基礎であることを繰り返し説かれるでしょう。そしてそれを現実の世界で実施していく道を示されるでしょう。それは世界的規模の分かち合いと協力です。仏陀とマイトレーヤは人類家族の長兄であり、それぞれに神の智慧の光と愛の光を体現なさる方々です。そしてお二人は、絶えず密接な協力の下に働いておられるのです。

大宣言の日

もう間もなく、マイトレーヤは御自身の本当の御身分を公に世界の前に^{けんじ}顯示されるでしょう。大宣言の日には、世界中のテレビやラジオのネットワークが連結されて、マイトレーヤは招かれて全人類に語りかけるでしょう。

その時、世界教師、キリスト・マイトレーヤは（１）人類すべてを彼の^{けんじ}大なる意識の光で、愛のエネルギー^{おほ}で覆われます。（２）マイトレーヤをテレビの画面に見ることができますが、その言葉は聞こえないでしょう。しかし全人類すべてが同時に、それぞれの母国語で、沈黙のうちに心に深くはっきりとマイトレーヤの意図を、訴えを聞くでしょう。それは思念伝達の最も強力な^{けんじ}顯示です。（３）世界中で何千人もの人々が病気の奇跡的治癒^{ちゆ}を体験するでしょう。マイトレーヤの愛のエネルギーに包まれて、実際に、肉体的に抱かれているような体験をする人々もいるでしょう。これらはマイトレーヤの全知遍在^{ぜんちへんざい}の力の証であり、この方こそ、人類の永い間の夢の体現であり、待望のキリストであり、弥勒菩薩^{みろくぼさつ}であり、マイトレーヤ仏であり、クリシュナであり、マーディであり、メシアであることを、人々は確信するでしょう。この地球の未来はマイトレーヤの呼びかけに、私たちがどのように応えるかにかかっているのです。マイトレーヤの体現する愛のエネルギーが人々のハートにしみ入り、心からの反応を呼び起こすでしょう。

世界教師の思い

わたしが再びあなたがたの中に現れる理由は数多い

今晚は、親愛なる友よ、
あなたがたに語りかけ、わたしが戻ってきた理由を心に堅く植^{かた}え付けてもらうために、
またこの機会を持った。

わたしが降臨し再びあなたがたの中に現れる理由は数多い。
主に次のようなものである――

わたしの兄弟である覚者たちは、日常の生活の中に集団で戻ることが予定されている。
わたしも、彼らのリーダーとして、また、仲間として共に戻る。

世界中のもろもろの民は、わたしを呼び、わたしの帰還を請^こい願っている。
わたしは彼らの嘆願に応える。

さらに多くの者は飢え、無意味に消えていく――
世界の倉庫の中では腐敗しているその食物を欠くために。
また別の意味でわたしの助けを必要とする者も多い――教師として、守護者として、
友として、案内人として。

これらすべてを総合する者として、わたしはやって来る。
人類がわたしを受け入れてくれるならば、彼らを新しい時代へ、新しい御国^{みくに}へ、
来るべき時代に人類を待つ、あの栄光の未来へ連れていこう。

このすべてのためにわたしはやって来る。

またわたしは、あなたがたに神への道を、
あなたがたの本源に戻る道を示すために、やって来る。
神への道は、すべての人間が辿^{たど}ることのできる単純^{シンプル}な道であることを示すために。
わたしが携^{たずさ}えてくる新しい「啓示」である、あの「新しい真理」の光の中へ

あなたがたを導くために。
このすべてのことのために、わたしはやって来る。

あなたがたの手を取って、あなたがたを招いているあの御国に連れていこう。

あの驚嘆^{きとうたん}すべき神の栄光をお見せしよう。

あなたがたはそれを仰ぎ^{あお}みることができるのである。

わたしの覚者たちの先陣は、あなたがたの中に位置を占めている。

あなたがたは間もなく彼らを知るであろう。

彼らの仕事を助けなさい。

彼らは、あなたがたを通して、新しい時代を建設するということも知りなさい。

彼らに導いてもらいなさい。案内してもらいなさい。道を示してもらいなさい。

そうすることで、あなたは、兄弟姉妹たちによく仕えることになるだろう。

心に深く留めなさい、我が友よ。

すべては良くなるだろう。

あらゆる事柄は良くなるだろう。

(マイトレーヤからのメッセージ 第2信)



世界教師出現の背景

天体の運行と秘教哲学

- (a) 「新しい時代」の天文学的事実
- (b) 不朽の智慧の教え（秘教哲学）
- (c) 世界教師出現の現状を伝える
ベンジャミン・クレーム

(a) 「新しい時代」の天文学的事実

人類は今、世界の歴史の中で途方もない時代の始まりに立っています。それは大きな意識の変換が起こる分岐点と言えるものです。

太陽系は26,000年という年月をかけて天空を旅しており、約2,150年ごとに12の星団を通過していきます。われわれはこれまで双魚宮（パイシス）のエネルギーの影響下に



ありましたが、これからは宝瓶宮（アクエリアス）のエネルギーの影響下に入っていく、そのエネルギーの刺激を受けて、新しい文明が形づくられていきます。クレームによると2008年からすでに太陽系は主にアクエリアスのエネルギーの影響下にあるという。この新旧2つのエネルギーの相克の中で混乱の極みにある人類に新しい時代の方角を示し導くために、世界教師マイトレーヤはハイアラキーの覚者方の一団を引き連れて、今この時期にやって来られました。（彼は、私たち人類が戦争と欠乏のない世界で基本的な生活必需品をすべての人が享受し、分かち合い、正義、自由、平和に基づく新しい文明を築いていけるように、われわれに刺激を与えられるでしょう）

これら2つのエネルギーは次のような特色を持っています。

私たちの現在の文明は、双魚宮のエネルギーに対する人類の意識の反応の結果と

して形づくられてきました。

^{バイシス}双魚宮のエネルギーが退行するにつれて、それらのエネルギーへの反応としてつくられた古い制度機構はもはや役に立たなくなり、一方^{アクエリアス}宝瓶宮のエネルギーの流入が強まるにつれ、それは全く違った結果をもたらします。そのエネルギーの特色が人類を統合へと向かわせます。

新しい時代を導くために、循環の法則に基づいて、再びマイトレーヤは宝瓶宮の全時代(2,150年間)の世界教師としてやって来られました。



(b) 不朽の智恵の教え (秘教哲学)

秘教哲学とは

極めて遠い昔から、神と宇宙と人間の性質に関わる基本法則と原理とを含む「根本教理」が存在してきました。秘教哲学としても知られています。この「古代の智恵」は、多くは口頭によって何千年間も世代から世代へと伝えられてきました。それは、数限りない文明の、芸術と科学の「源泉」となり、同時に全世界の宗教が様々な時代において数多く枝分かれして現れてくる源となってきました。

「秘教（密教）」は、人間と自然の両方における進化過程についての哲学（思想）とすることができます。それは時代ごとの蓄積された智恵の科学ですが、われわれの日常生活への適応においては、学問的ではなく、実践的です。それは宇宙とその中に含まれて部分をなす人間のエネルギー構造の体系的で理解しやすい説明を提供します。

教えの第一段階



ブラヴァツキー

近年、この教えは書き留められて、チベット人とも呼ばれるジュワル・クール覚者によって、H・P・ブラヴァツキーと、後にアリス・A・ベイリーの著作を通して万人の手の届くものにされました。H・P・ブラヴァツキーは1875年から1890年にかけて彼女の著書『^{あらわ}顕されたイシス (Isis Unveiled)』と『秘密の教義 (The secret Doctrine)』の中で、

覚者方とイニシエートの存在を、西欧に最初に明らかにしました。これは新しい時代とキリスト・マイトレーヤの再臨を準備するために、霊ハイアラキーによって計画された教えの第一段階を形成しています。

教えの第二段階



アリス・ベイリー

教えの第二段階は、アリス・A・ベイリーによって世界に紹介されました。1919年から1949年まで、彼女はジュワル・クール（DK）覚者から教えを受け取り、それを書き留めました。これらの教えは、19巻の本にまとめられ、ルーシス・トラストから出版されています。『光線とイニシエーション』の中に、ハイアラキーの教えが全世界に示現される段階は、「1975年以降、ラジオを通して、世界的規模で公布されるべく出現するだろう」と予言されています。早くも1948年に、彼女の著書『キリストの再臨』の中で、キリストの再臨が間近いことが啓示されています。

人間は本来、^{きらめき}霊（神の閃光）である

秘教では、人間を、本来、^{きらめき}霊（神の閃光）であり、魂または^{こうい}高位我と肉体人間という媒体を通して様々な段階に表現されている、と定義されています。

^{パーソナリティー}肉体人間は、^{メンタル}識心体、^{ア ス ト ラ ル}感情・情緒体、肉体（これはエネルギー、すなわちエーテル体との複合体から成る）から構成されています。

原因と結果の法則（カルマの法則）

魂は繰り返し繰り返し異なる肉体人間として^{りんねてんしょう}輪廻転生し、特定の目標に向かって前進し続けます。原因と結果の法則、すなわち、聖書の用語を用いるなら、「汝の^ま時いたものを刈り取るであろう」というカルマの法則がわれわれを繰り返し繰り返し地上に引き戻すのです。そして次第に進化の過程を経て、ついに、われわれの^{あらわ}内在の神性をより忠実に顕すようになります。

カルマは普遍的宇宙法則の継続的かつ必然的な展開です。現代科学は、この同じ原理を別の言葉で表現しています。あらゆる行動には、それと同等の逆^{そうおう}に働く反作用がある、と。これにより非利己的と利己的の行為は、最終的には、同等の、^{そうおう}相応の「カルマ的返還」を引き起こすのです。

肉体が死滅するたびに、魂はその乗り舟（肉体人間）を創造した目的に照らして、終了したばかりの生涯を見直し、評価します。そして過去の成功と失敗の分析に基

づいて、次の転生——未来の行動経路——を決定します。その時、魂は、次の転生において、その目的の履行^{りこう}を保証する特質を肉体人間に与えます。

再生誕の法則

再生誕^{さいせいたん りんねてんしょう}（輪廻転生）は、人間の進化の過程であり、低位の生命形態（動物）に生まれ変わすることは決してありません。

この進化の道に沿う様々な段階にはイニシエーションによって道標が付けられています。それは個人が肉体と感情体^{しきしんたい}と識心体とを次第に統御するに従って生ずる偉大なる意識の拡大です。進化過程はわれわれの通常^{しきしんたい}の教育システムと類似しています。われわれは幼稚園において教えの最も基礎から始め、宇宙の高度のカリキュラムへと進んでいきます。様々な達成段階は、卒業とさらに次の段階の学びの殿堂への入学という儀式的道標が設けられています。

地球での生活に結びついた5つの主要なイニシエーションは、イエスの生涯において象徴的に表現されました。すなわち、誕生、洗礼、変容、十字架の磔^{はりつけ}、復活が、それです。人が第5段階のイニシエーションを受けるとき、その人は覚者と呼ばれ、それは、この世界（地球）が提供できるすべての経験を通じて、その過程で自分自身とあらゆる意識レベルを完全に支配したことを意味します。

そのようになれば、彼はもはやこの惑星上に再生誕して来る必要はありませんが、神の計画に奉仕するために、志願して戻って来るかもしれません。覚者は、われわれが裡^{うち}に秘めている神性を完全に表現されています。

ハイアラキーの顕現^{けんげん}

ハイアラキーを構成される覚者方は、この惑星の神の大計画の管理者です。生命の全領域の完全なる発達を監督していますが、宗教だけでなく、現実のあらゆる面を取り扱っておられます。舞台の背後から働きかけ、様々なエネルギーを世界に放出して、偉大なる科学的業績と創造的芸術の高度の達成を鼓舞^{こぶ}しておられます。政治、経済、社会、宗教、教育を含むあらゆる分野において彼らの弟子たちが働いています。覚者方は導き教えますが、自由意志に基づいてこの刺激に応えるのは人類自身です。そしてその刺激によって、われわれの文明を築く構造の変化と建設がもたらされるのです。

神の啓示は自然のあらゆるものと同様に周期的です。一つの時代、または文明の末期に、人類が新しい霊的真理を受け入れる準備ができたとき、あるいは世界が重要な

危機点に達したとき、必ず教師が道を示すために現れました。歴史を通して多くの大^{アバ}聖（偉大なる霊的メッセンジャー）が現れ、クリシュナや仏陀やキリストはその内の一部にすぎません。われわれは現在、^{バイシス}双魚宮の時代を抜け出しつつあります。この時代は理想、献身、派閥、個我の発達によって特徴づけられてきました。惑星が宝瓶宮のエネルギーの影響下に入っていくと、流入する統合のエネルギーによってわれわれの生活は条件づけられます。先の時代に育てられた理想や価値を実際に適用し始めるにつれて、強調点は個人からグループへと移って行きます。この移行は比類なき可能性と挑戦の両方を提供します。

マイトレーヤと覚者方はわれわれを新しい時代へ導き、これらの新しいエネルギーを解放し、方向づけるためにやって来られています。われわれがそれらのエネルギーに応えることによって、新しい文化と文明が創り出されるのです。

(c) 世界教師出現の現状を伝える ベンジャミン・クレーム

教えの第三段階



英国人、ベンジャミン・クレームは、H・P・ブラヴァツキー、アリス・A・ベイリーに続いて、現在進行しつつあるマイトレーヤと覚者方の外的顕現の情報を世界に提供している霊ハイアラキーの弟子です。著名な画家であり、秘教徒として深い造詣^{そうけい}と体験を積んでいます。1959年に、クレーム

は彼自身の師である霊ハイアラキーの覚者の一人から突然、連絡を受け、キリストの再臨が間近であること、そしてもし彼が承諾してくれるならば、そのために一役果たす機会が与えられることを聞かされて、彼は最善を尽くすことを誓いました。

1972年に、彼を来たるべき任務に向けて準備するため、彼の師である覚者は非常に厳しい集中した訓練を彼に課しました。このようにして彼は、師との間に一瞬一瞬の意識的な双方向の思念伝達（メンタルテレパシー）の能力を開発し、ヒマラヤ山中におられる覚者の世界における窓口的役割を果たすようになりました。この関係が、マイトレーヤの降臨の進行状況について正確な情報を得ることを可能にし、非常に懷疑的な世界にこの情報を公に提供する確信を彼に与えました。

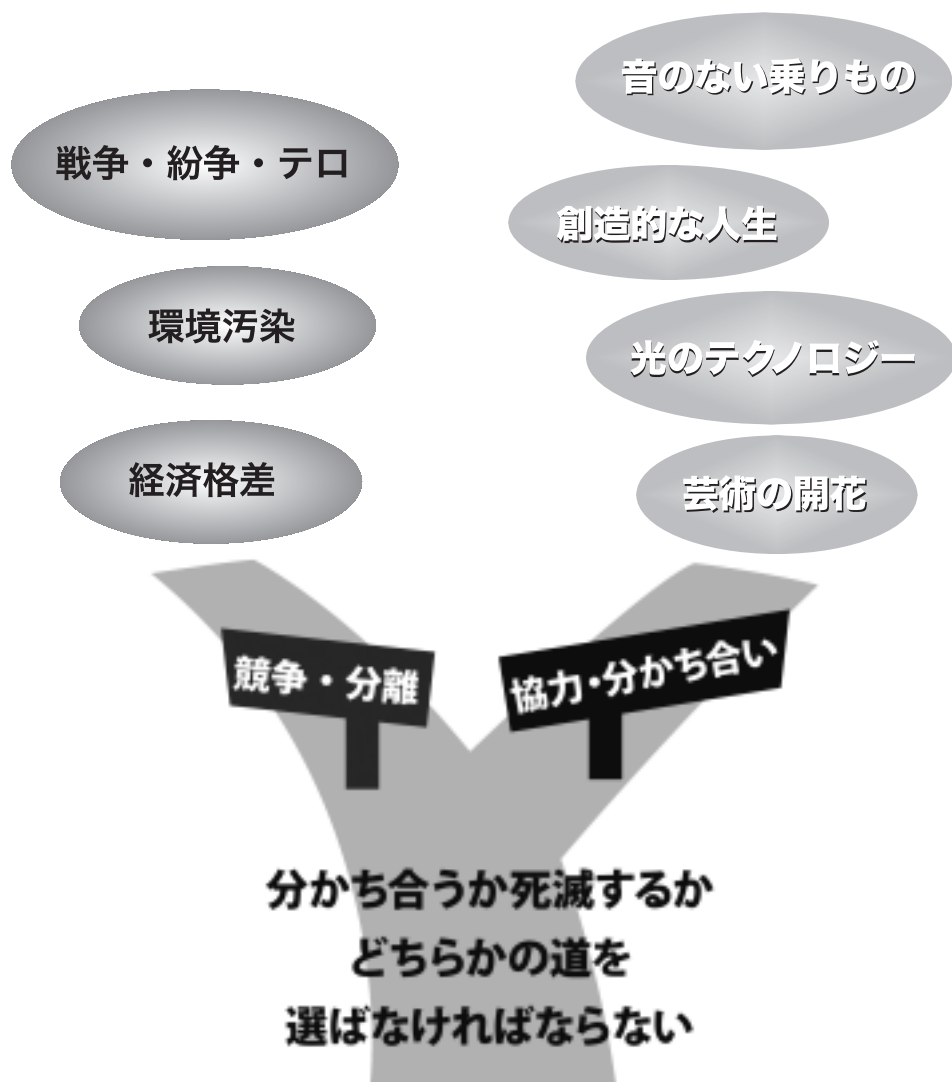
クレームは招かれるままにアメリカ、カナダ、ヨーロッパ全域、環太平洋諸国で講演をし、世界中のラジオやテレビ局からのインタビュー要請に応じてきました。日本にも1985年以来（2010年まで）、毎年講演に来ていました。彼はこれらの活動に対しての個人的な謝礼は一切受け取らず、さらに彼自身の霊的な地位についても全く何の主張もしていません。クレームはまた国際的な月刊誌『シェア・インターナショナル』の編集長でもあり、この雑誌は世界70カ国以上で読まれています。彼は言います、「私の仕事は、一般大衆にこの情報を伝えるための最初のアプローチをして、希望と期待の風潮を創ることです。その風潮の中で、マイトレーヤが人類の自由意志を侵すことなしに、世界に出現できるのです」

彼の講演活動や著書や『シェア・インターナショナル』誌を通してこの情報を知り、反応した人々が世界中の国々で、マイトレーヤについて、そして来たるべき世界的規模の大変容についての情報を伝達する奉仕活動に携わっています。彼らはこの活動に、時間とエネルギーと資源を惜しみなく提供しています。クレームの著書および毎月のシェア・インターナショナル誌の翻訳・編集・出版に関する仕事もすべて無報酬の奉仕で行われています。



2006年9月20日、オランダ、アムステルダムでのベンジャミン・クレームの講演中、マイトレーヤのオーバーシャドウによる祝福で黄金色のエネルギーに満たされた会場。

人類は岐路に立っている



共に平和に生きるか、完全に死滅するか

(マイトレーヤからのメッセージ 第11信より)

「……私は間もなく出現する。

しかしまず初めに、新しい方向を指し示そう、
人類が生存し続けるために選ばなければならぬ方向を。

第一に、人はお互いを兄弟として、唯一なる御父^{おんちち}の子供たちとして見なければならない。

これは何よりも大切なことである――

もし人が、一步でも神に近づこうとするならば、

生きるために必要不可欠なものすら持たない男女や小さな子供たちが世界中に存在し、

数多^{あまた}の貧しい国々に群^はがっている。

この罪惡は、わたしを辱^{はずかし}めてやまない。

わが兄弟たちよ、

あなたがたはこれらの人々が死ぬのを目の前にしながら、

いかで自分たちを人間と呼ぶことができようか？

わたしの計画は、

このわたしの幼き者たちを、飢えと不必要な死から救うことである。

あなたがたを取り巻く問題を切り抜ける道は、

あなたがたの心の裡なる神のまことの声に再び耳を傾けることであり、
この世の豊かな産物を世界中のすべての兄弟姉妹たちと分かち合うことである。

これをあなたがたに示すことがわたしの計画である。

わたしはあなたがたの助力を必要とする。

わたしの仕事を手伝ってくれるよう、あなたがたに呼びかける。

どうしてわたしはこの大量殺戮^{さつりく}を傍観^{ぼうかん}し、

わたしの幼き者たちが死ぬのを眺めていられようか。

否^{いな}、わが友よ、それはできない。

だから、わたしは再びあなたがたの中に速やかに戻り、

方向を示し、道を教えにきたのである。

真^{まこと}なる人間として分かち合い、共に平和に生きるか、

完全に死滅するか――

このどちらかをあなたがたは選ばなければならない。

わたし^{ハート}の心は、あなたがたの答えを、
選択を知っている。そして喜んでいる。

商業至上主義が文明を破壊する

現在、われわれは3つの全体主義の終わりを目撃しています。第1に旧ソ連や東欧諸国に見られた政治的全体主義の終焉です。ソ連のゴルバチョフ氏の先導で行われたグラスノスチとペレストロイカ政策によって、共産主義の崩壊というよりも全体主義的政治体制の崩壊を見たのです。

第2にわれわれが目撃しているのは、米国に代表される経済的全体主義の崩壊の過程です。1980年後半の日本株市場の大暴落と、2008年アメリカ発の金融危機は、世界経済を直撃しました。市場のフォース（エネルギー）に基づいた商業至上主義という不公平な経済制度の崩壊の始まりです。

最後に消え去るのが、宗教的全体主義です。独断的教義が宗教指導者たちによって多くの人々に押し付けられています。現在、宗教的ファンダメンタリズム（原理主義）はあらゆる宗教で権力の頂点にあり、政治にも大きく影響力を広げています。

これら3つの全体主義の崩壊によって、人間は初めて本当の意味での自由を知りましょう。真の自由とは、政治的自由・経済的自由と正義、そして思想と信条の自由です。

各国政府の優先事項

現在、世界の国々の新しい信条は商業至上主義であり、それは競争と貪欲に基づいています。人々は経済的効率の名の下に文字通り死に追いやられています。商業至上主義の論理が社会的福利を蝕^{むしば}んでおり、この文明を破滅の淵に追いやっています。世界の株式市場の崩壊は必然的に変化と世界経済の立て直しにつながり、マイトレーヤと覚者方の出現後、彼らの指導と鼓舞の下で、各国政府の優先事項は、適切な食物と住宅と健康管理と教育を人間の普遍的権利として国民すべてに提供することになるでしょう。

商業至上主義は原子爆弾より危険

質問：マイトレーヤは、商業至上主義は原子爆弾より危険だと言われます。アメリカに住んでいると、経済優先、商業主義だらけです。この国ではすべてが商業主義を永續させるようにつくられています。経済制度の弊害を見る私のような者が、この弊害を永續させることをどう阻止できるのでしょうか。あるいは経済制度そのものの完全な崩壊を待つしかないのでしょうか。

答：それは、これかあれかどちらか一方という問題ではありません。経済優先、商業至上主義はアメリカだけに蔓延まんえんしているのではなく、世界中すべてに蔓延しています。アメリカは商業主義とそのあらゆる手段を世界中に輸出しました。グローバリゼーションは事実です。それは貿易や資源の分配の中に見られます。

しかしそれはまた概念、つまり心（マインド）の中のアイディアです。商業至上主義は、問題に直面するとき、その最も効果的な解決法は最大の利益を生むように開発された最も効果的なビジネス手段だという考えをつくり出します。市場指向の経済を通して、つまりマイトレーヤが言われる市場指向哲学の盲目的追従を通して、すべての問題はマーケティングという形で解決可能だと見なされます。

市場のフォースはあたかも世界の経済問題を解決する魔法の杖のように考えられています。

……商業至上主義の危険性は、第三世界の人々への搾取とはまた別に、人間の概念や、価値観、世界観を商業化してしまうことです。ですからマイトレーヤは、それは原子爆弾より危険だと言われるのです。ひっそりと、巧妙に生活のあらゆる面に入り込んできて乗っ取ります。企業経済と利潤追求が、政治、医療、教育の基準になってしまいます。それが教育や医療、あるいは民主的政治の過程に占める場はありません。それなのに、浸透することが許され、そしてこれらの、基本的には人類への奉仕活動であるべきはずのものをコントロールするのです。それが危険なのです。非常に微妙なので、私たちは起こっていることに気がつきません。……

証券取引所は、特定の会社の金融状態を（単に書類上で）登録するのに用いられます。取引所に上場され株価が上がっていれば人々は投資します。買い得だからです。下がれば売ります。彼らは賭をしているのです。ただお金をある会社は何%かで一定の期間貸し、座って待っているだけです。賭の勝利金で暮らしているのです。悪銭です。……

マイトレーヤが商業主義を「原子爆弾より危険である」として悪のリストの高位に置かれているのは、この理由によるのです。それは原子爆弾より目に見えないものだからです。

「私たちは完全な経済の崩壊を待たねばならないのか」という質問ですが、現在起こっていることを直視しなければなりません。意識していなければなりません。意識していれば、物事全体を表面に見える通りに受け取ることはいらないのです。単純に、「これはずいぶん安くなっている。結構じゃないか。値段が下がってきた、いいぞ!」とは言えないでしょう。安くなるということは、アフリカでそれを作った人はもっと

安い代価しか受け取っていないということです。個人で変えることができませんが、あなたのそれに対する態度を変えることはできます。そして実際に何が起きているのかを認識することはできるのです。もしマイトレーヤが正しければ、それはもう終わりなのです。終わりを早める一押しに手を貸すことができるのです。

商業至上主義が環境破壊の元凶

今や環境汚染が世界における第一の殺人者であり、人類の免疫組織を破壊し、抵抗力を奪っています。しかし、私たちは、世界最悪の汚染が核放射能であることを知りません。世界中の原子力発電所から放出されている核放射能の真の危険性は現代の粗雑な計測器では測定できません。物質界には7つの亜界があり、低位3亜界（固体、液体、気体）の上位には人間がその存在すら知らない精妙な4つの亜界（エーテル界）があり、核放射能がそこに蓄積されており、それが人類に最大の損傷を引き起こしているのです。人間の免疫組織が破壊されるため、抵抗力が弱まり、若年性アルツハイマーなどの原因がここにあります。われわれは核放射能で汚染された世界に住んでいるにもかかわらず、^{きとくけんしゃ}既得権者は原子力発電所のさらなる建設を提唱します。そこから莫大な利益が得られるからです。これが^{どんよく}貪欲と利己主義、競争に基づいた商業至上主義の最悪の姿です。マイトレーヤは公に出現された後、原子力発電所を直ちに閉鎖するよう示唆されるでしょう。人類が平和・正義・分かち合いの原則を受け入れ、世界を再生していく時、光のテクノロジーの科学が人類に明かされるでしょう。



S.O.P. “惑星の救済”

「人類が彼らの住まいである惑星の生態系の不均衡がいかに深刻であるかに気づくとき、その状況の改善のために極めて緊急に必要とされるステップを取らなければならない。もし十分な決意で対応することに失敗するならば、人類はこの惑星を徐々に、しか

し必然的な破壊に陥れることになる。そうすると、どんな遺産を子孫に引き渡すことになるのか。この自己破壊を蔓延まんえんさせないためには、すべての者が共に行動し、必要な犠ぎ牲せいを払わなければならない。これは惑星の保全に対する態度の変更、および今日人間の必要と見なされているところのものについての完全な変更を必要とする。

ある人々にとっては、必要とされる変化を承認することは容易ではないだろう。しかし、そのような変化によってのみ、この惑星のいのちは保証され得る。すでに地球上欠くことのできない森林の蓄えに深い食い込みが起こっている。森林の乱伐らんぱつは、酸素の減少と炭酸ガスの上昇を生じさせた。これは今や危機的段階にあり、即刻、行動する必要がある。

地球温暖化の現実は今や大勢の人々の心（マインド）に目覚めつつある、しかし、圧倒的な証拠にもかかわらず、人間の行動が原因であることを否定する者たちがまだいる。

わたしたち、あなた方の兄たちは、人間の行動が地球温暖化の80%に責任があるということを、完全な確信をもって言うことができる。

マイトレーヤがこの緊急の問題に人間の注目を向けさせるのは、遠い先のことではないだろう。彼は人間に選択肢を突き付けるだろう——一つは、今行動することによる有益な結果か、そしてもう一つは、何もしないことから、あるいはあまりにも少ない行動の結果としての破壊か。かくして、決断は人間のみが行う。

人間がこれを理解するとき、彼らはまさにこの大義の下に結集するだろう。彼らの子供たちの未来が現在の行動に依存していることを知るだろう。そしてマイトレーヤと彼のグループから、彼らが取るべき必要なステップを引き出すだろう。マイトレーヤは、より簡素な生活を、惑星の状況の現実により見合った生活を提唱するだろう。これが必要であることを十分に多くの人々が確信するとき、簡素化への運動が惑星全体を通じてますます大きく広まるだろう。何千万の人間が変化の必要に鼓舞されて、それは極めて尋常じんじょうならざる速さで進むだろう。このようにして、地球という惑星が直面する最も深刻な危険は、いくらか押しとどめられるだろう。これが多くの人々を勇気づけて、彼らはさらなる変化への用意を進めるだろう。必要な変化のジレンマに直面して、人間は分かち合いの原則を受け入れることの必然性に気づくことになるだろう。分かち合いのみが、これらの変化を実際の可能なものにするだろう。分かち合いを通してのみ、この惑星の賜物おくりものはうまく利用される。分かち合いを通してのみ、この賜物おくりものは正しく管理されるだろう。このようにしてのみ、惑星自体はその環境およびその住民と調和して生きることができる」

変容とアプローチ

マイトレーヤの助言

「マイトレーヤの助言は、地上における人間の生活の根本的な再建設以外の何ものでもない。変化の巨大なプログラムが提案され、それは一步一步、政治、経済、社会の機構の根本的な変容へつながるだろう。それによって、人々はお互いの間の交流と関係を正していくだろう。現時点においては、人々はそのような広範囲な変化を前にして躊躇するかもしれない。しかしキリストの唱導とインスピレーションに反応し、そして経済破局の脅威に直面するとき、多くの者たちが、世界の緊急な問題に取り組むために新しいアプローチと新しい緊迫性が必要なことを理解するだろう。これらの問題は、もし無視されるならば、うずき、化膿し続け、そして世界中で悲劇的な出来事となって爆発するだろう。何百万の人々の苦痛と苦難は、現在のわれわれの怠慢の必然的な結果であろう。マイトレーヤはそうのように語るだろう。そのようにして変化への必要を示されるだろう」

〔「覚者は語る」マイトレーヤの助言より抜粋〕

マイトレーヤの役割

質問：大宣言の日以後、マイトレーヤは政治の指導者になるのでしょうか。

答：いいえ。マイトレーヤは霊的教師です。人類は大きな霊的危機を通過しているのです。

なぜなら私たちは、自分が誰かを知らないからです。なぜ自分がここにいるかを知りません。人生の目的を知りません。私たちはいのちへの尊敬の念を商業至上主義、市場フォース経済や金銭崇拜に取り替えてしまいました。経済が世界の新しい宗教であり、私たちを破滅の淵へ導いているのはこの経済優先、商業至上主義なのです。人類の霊的危機は政治・経済の分野を通して集中されており、その分野で解決されなければなりません。……

マイトレーヤが公の生活に公然と出て来られるとき、彼は政治、経済の再編と変換について話をされるでしょう。しかしいったんそれが確立されれば、それについてはそれ以上関わらないでしょう。マイトレーヤは私たちに真我実現、または神性の顕現の術を教えに来られたのです。言葉を換えれば、どのように進化するか、どのようにして覚者になるかを教えに来られたのです。覚者方は真我実現を達成された方々です。それが人間を覚者にするのです。そうすれば、自由になってより高位の惑星へと進むことができるのです。それが人生の目的であることを教えに来られたのです。

分かち合いが世界を救う

分かち合いの原則

「来るべき時代に、人類は分かち合いの原則を実施するのに伴う問題に取り組むための方法を幾つか開発するだろう。この貴重な原則が繰り広げられる各ステージごとに、人間は自己の本源へより近づいていく。その聖なる潜在力をより多く顕す^{あらわ}新しい人間の存在が、徐々に知られるようになるだろう。

第一のステージにおいては、再分配が基調となり、各国家は余分の資源を世界共通の使用のために提供する。人間がその裡^{うち}なる神性ゆえに、経済生活をより単純な形態にすることを欲する心を目覚めさせるまでは、洗練された物々交換の形態を通して、世界の物資は分かち合われるだろう。次のステージにおいて、人類は不必要な苦役^{くえき}から解放されるだろう。製造の仕事を機械が徐々に人間から引き継ぐだろう。やがて日常生活の加工品はすべてこのような方法で作られるだろう。このことは、国家間の発展段階と資源に非常な差がある今日では想像すらできない自給自足の形態につながるだろう。これらの機械が、人間を自己の内的探求へと解放し、人間が神へ向かって前進することを保証するだろう。時が来れば、これらの機械は人間の意志の作用で作られるようになるだろう。啓発された識心（マインド）の力によって、人はフォース・エネルギーの集合体を合わせて、これらの器具や装置を生みだし、生活の必要はすべて満たされるだろう。

その時、分かち合われるものは資源と霊の果実であろう。かつて見たこともないような創造性が人間の生活を変え、この新しい生き方と美の中ですべての人間が分かち合う^{おのれ}だろう。かくして、人間は神として己自身を顕示するだろう」

（『覚者は語る』分かち合い より）

分かち合いと協力の価値

家族の中やグループ内部では、みんなの幸福達成や福利の手段として、分かち合いや協力の価値を多くの人々が学び取っています。問題は、物不足ではなく、国内と国際間における行動が引き起こしている経済社会上の誤った分配と誤用の問題です。これらの非常に根深い思考と行動パターンは変えることが難しく、通常は問題の解決法を必要以上に複雑化しています。しかしながら、今日では、必要な変化をもたらすために、数千人の経験を積んだ善意の人々があらゆる分野で働いています。ハイアラキーに

よって鼓舞された彼らは、世界的規模の分配という解決策を実行しようとする政治的意志（人民の意志）が存在するようになる時のために、そしてわれわれがそれを実施する助けとなるように、その計画とその青写真をすでに練り上げています。富める国々が生活水準を大きく引き下げることが必要ではありません。不必要に贅沢をしたり、必要以上に所有したり、食べ物や飲物やタバコを浪費したり、法外な生活ぶりをするという形で十分に余計な富が存在しているので、それだけで発展途上国の緊急の必要を満たすためには十分です。もし、現在の世界資源分配の不公平を認め、喜んで分かち合う心があれば、より均衡のとれた状況を達成することは難しくないでしょう。それが善意のエネルギーに満たされ、分かち合おうとする意志に鼓舞される世論の圧力によって、政府であれ、経済社会であれ、権力を握っている人々はこれらの考え方を受け入れるようになるでしょう。

わたしの幼き者たちを救いなさい

「現在のような生き方に、あなたがたはいかで満足してられようか。

何百万の人間が貧困の中に飢え死にしているかたわら、

金持ちは貧乏人の前で彼らの富をみせびらかす。

人はお互いの隣人の敵であり、誰も兄弟を信用しない。

あなたがたはいつまでそのようにして生きねばならないのか、我が友よ」

（マイトレーヤからのメッセージ 第81信より）

「わたしの幼き者たちを救い、あなたがたの同胞を飢えから救いなさい、

人類は一つであることを、唯一なる御父^{おんちち}の子供たちであることを覚えておきなさい。

大地の産物を、これを必要とする者たちに、信をもって譲りなさい。

これを今なして、世界を救いなさい」

（マイトレーヤからのメッセージ 第31信より）

1978年と1979年に伝えられたこれらの言葉によって、マイトレーヤは何ら革新的な教義を説いたわけではありません。彼は人類自身が数年前に、国連憲章の人権宣言第25章の中ですでに次のように宣言したことを、さらに力強い言い方で繰り返しただけです。

「人はすべて、自己及び家族の健康と福祉のために、衣食住、医療、及び社会厚生施

設を含んだ適切な生活水準を保持する権利を有し、さらに失業、疾病、不具、配偶者の喪失、老齢、または不可抗力による生活不能の場合に保障を受ける権利を有する」

(人権に関する世界宣言第25条)

1980年、当時のドイツ政府の報告書は、次に示すように、どこに問題があるのかをはっきりと示しています。

「工業先進国は現在すべての天然資源の4分の3を消費し、世界貿易の80%を支配し、全産業の93%を支配し、あらゆる工業技術と科学的研究成果のほとんど100%を独占している。それにもかかわらず、先進工業国に生活している人々は全世界の人口の4分の1に満たない。4分の3の人々は残りのもので、何とかやっていかなければならない」

分かち合いの制度とは

質問：分かち合いは、実際にどのようにしてなされるのですか、国ごとにそれは起るのですか。また国連やその他の国際機関などを通して国際的に起るのですか。

答：両方が組み合わされたものになるでしょう。国際連合が世界の主要な議論の場になるでしょう。世界の諸問題はそこで話し合われ、決議され、新しい制度が実行に移されるでしょう。世界資源の分かち合いのプロセスを監視するための全く新しい特別な機関が国連に設置されるでしょう。ここで強調したいのは、人類が自由意志を持つということです。何事も人類に強制されることはありませんが、人類が自らの自由意志で分かち合いの原則を受け入れるとき、私たちは マイトレーヤと覚者方の一団に尋ねるでしょう！ 私たちはどのようにすればよいのですか、どうやって分かち合いを始めればよいのですか、と。すでに計画は存在しているのです。長年、覚者たちと共に働いてきた高位のイニシエート※の一団が、現在経済問題の核心である再分配の問題を解決するための相互に関連性のある一連の計画をすでにつくり上げています。

しかしその再分配は、意識の変革の結果として生じるものです。人類は意識の大変革を経験する時点に近づきつつあり、お互い同士の関係、宇宙や自然との関係、そして私たちが普通「神」と呼んでいるものとの関係を全く新しいやり方で認識し始めています。宇宙のあらゆるものは互いに関連し合っている、とマイトレーヤは言われます。つながっていない部分はありません。だから私たちが自分自身に対してすることは自然に対してもすることであり、自然に対してすることは、神の反映としての私たち自身にしていることなのです。私たちは、私たちが神と呼ぶ全的意識の一部分、反映なのです。

(※ 高位のイニシエート=高い段階のイニシエーションを受けた人)

新しいスーパーパワー——民衆の声

「民衆の声は智恵の声である」

世界は変化への準備ができています。現在は声をもたない世界中の何百万という人々がこのことを知っています。マイトレーヤは変化の必要を感じている人々の声となるでしょう。彼は世界の世論を刺激するでしょう。教育を受けた民衆の意見が適切な刺激を受ければ、地上のどの国も対抗することのできない力となるでしょう。

(ベンジャミン・クレーム『大いなる接近』 p.78)

新しい文化がどのような形を取るかは、大体においてまだ漠然として実体のないままであるが、一つの要素はすでに大衆およびメディアの心に刻み込まれている。つまり民衆の声の増強とその声を聞こえさせようとする決意の増大である。これがわれわれの時代の最も重要な政治的出来事である。世界を通じて、各国の国民が自分たちの運命をコントロールしつつあり、自分たちの権利を要求しつつある。人間の神性に本来備わった特性である自由を求める裡^{うち}からの呼びかけが、あらゆる人種、信条の人々を団結させており、その声はますます高まりながら反響を起こし、また反響を呼んでいくだろう。圧政の最後の砦が崩壊し、人間が生得の権利を受け継ぐまで、それはこだまするだろう。これがすべての人間の待望する未来である。

(『覚者は語る』—民衆の声、p.329)

質問：“民衆の力”は常に存在してきました。それは何も新しいものではありません。『シェア・インターナショナル』誌は、そのアイディアをあたかも新鮮で革命的なもののように提示しています。それはなぜですか。

答：歴史的に、フランスやロシアや中国の革命のような巨大な革命運動を除いては、今日『シェア・インターナショナル』誌が提示しているような“民衆の声”は本当に沈黙させられていました。歴史を通じて、“民衆”は、支配のための武器を持った征服者によって行われた数々の侵略、略奪、^{しんりやく りやくだつ ざんぎやく}残虐行為を目撃し、しばしばその被害に^あ遭ってきました。今日、新しい現象が起こっています。至るところの民衆が集合的な力を感じ、一つの人類のメンバーとしての権利によって、自由で公正な世界を彼らのものとして要求しています。これは、私の考えでは、全く新しいことであり、いかな



る政府も対抗できない強力で統合された声を持つ世界世論として顕現するでしょう。覚者方の一人はこう言われました、「民衆の声は智慧の声である」。

(ベンジャミン・クレーム、シェア・インターナショナル誌 2005年3月号)

「私に何ができるでしょうか、私は小さな一人の人間にすぎません」というような質問が多数寄せられます。あなたは一人ではありません。世界中の何百万もの人々の一人です。正しく思考する何百万もの善意の人々の一人です。彼らに加わりなさい。彼らも、あなたと同じように世界の平和を欲しており、世界にある不正義（非公正さ）が平和を妨げていることを知っています。それを知らせなさい。他の人々やグループに加わりなさい。人類は善に向けての途方もない勢力であり、変化は民衆の上げる声を通して起こるでしょう。すべての国で民衆の声が沸き上がるでしょう。それは、人々が知ろうが知るまいが、マイトレーヤによって鼓舞され、導かれ、活性化されたものです。民衆の一致した意志が政府に変化を強いるでしょう。

(ベンジャミン・クレーム、シェア・インターナショナル誌2003年11月号)



光の勢力の集合とUFOの役割

シェア・インターナショナル誌2007年3月号の「光の勢力は集合する」という記事の中で、ベンジャミン・クレームの師は、多くの徴や不思議がマイトレーヤの公の出現に伴うことを明らかにした。それは、「われわれの近隣の惑星、特に火星と金星からの宇宙船がこれまでにない数でわれわれの視界に見えること」を含む。覚者は次のように続けている。「地球の広大な範囲の領域で、このような活動の増大はこれまでに見られたことはないだろう」

2007年以来、世界中でUFOの目撃例が劇的に増加してきた。それには、特に南アメリカでの、宇宙船の複数船団の目撃も含まれる。2010年6月に出版されたベンジャミン・クレームの著書『光の勢力は集合する——UFOと彼らの霊的使命』には、宇宙の兄弟たちと地球上での彼らの真の使命——人類が世界の危機を切り抜けるのを支援するという使命——についての独特な情報が含まれている。

これまで、シェア・インターナショナル誌は、確認された宇宙船の写真をますます多く掲載してきた。私たちが大宣言の日に近づいていくにつれて、宇宙の兄弟たちはますますオープンに活動するようになるだろう、とベンジャミン・クレームは述べている。



2009年にオランダのミステリーサークルのある畑に現れた火星の宇宙船。写真はロバート・ファン・デン・ブレーケ氏撮影。



2012年6月7日、中東のイスラエル上空で見られた、らせん状のUFO。

【ベンジャミン・クレームの師は、このらせん状の物体が火星からのUFOであったことを確認した】



2010年7月7日、未確認物体がレーダーで確認された為、中国東部の杭州蕭山空港は1時間も閉鎖された。地元住民が金色の光に包まれた輝く物体の写真を撮った。その飛行船のビデオもまた飛行機の中から撮られている。

(allnewsweb.com; YouTube, uforeport2009; gawker.tv; オーストラリア、ABC News; 中国、Shanghai Daily; 英国、The Daily Mail)

【ベンジャミン・クレームの師は、その物体が火星から来た宇宙船であったことを確認した】



2014年8月13日、ドーセット州グッセージ・セント・アンドリュースにて。

著作権：Steve Alexander



2010年7月3日、英国ウィルトシャー州の麦畑に金星の宇宙船によってつくられた、星の形をしたミステリーサークル。

(SI誌2010年9月号)

出現を知らせる不思議な“星”と 時代の徴^{しるし}

光り輝くパワーの星

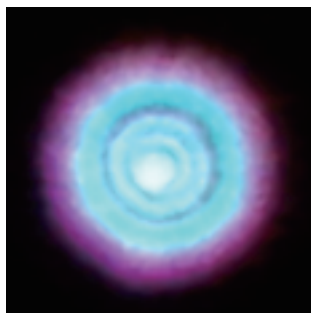
2008年12月、ベンジャミン・クレームは、不思議なパワーの星が現れ、それはマイトレーヤの出現の先触れとなると発表する。そして2009年初めより、世界各地からその目撃が報道され始め、シェア・インターナショナル誌にもたくさんの写真が寄せられ始める。2010年1月にマイトレーヤがアメリカでテレビ出演したと発表、その後出演はメキシコ、ブラジル、ロシア、中国と続いている。彼はまだ正体を明らかにしていない。彼の考えが先に伝えられており、それは大宣言の日まで続くだろう。

「非常に近い将来、世界中至るところにいる人間は、途方もない、意味深い徴を目撃するだろう。それと同じような徴は以前に一度だけ、イエスの誕生の時に現されたことがある。キリスト教徒の教えによれば、あの時天空に星が現れて、3人の賢者を東方からイエスの誕生の地にまで導いたと伝えられている。また再び、光輝くパワーの星のような発光体が間もなく世界中で見られるだろう」

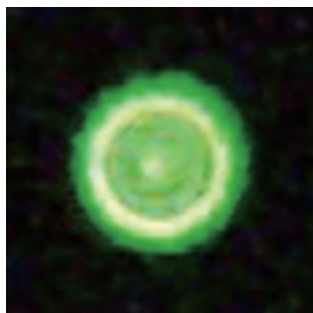
(シェア・インターナショナル誌2009年1・2月号「マイトレーヤの最初のインタビュー」より)



↑ 2009年1月3日、コスタリカ



↑ 2010年4月11日、米、マサチューセッツ、ボストン上空。デイビット・E・マイノット氏撮影



↑ 2010年5月4日、イギリス、エセックスハルブリッジ上空でキャロル・エマーソン氏が撮影



← 2012年1月23日の夕刻、ロシア、ウファ（バシコルトスタン共和国の首都）の市街地上で。2分15秒の長さのビデオでリング状の物体が急激に色を緑、黄色と赤の様々なコンビネーションに変化させている。
(YouTube:myunhauzen74)

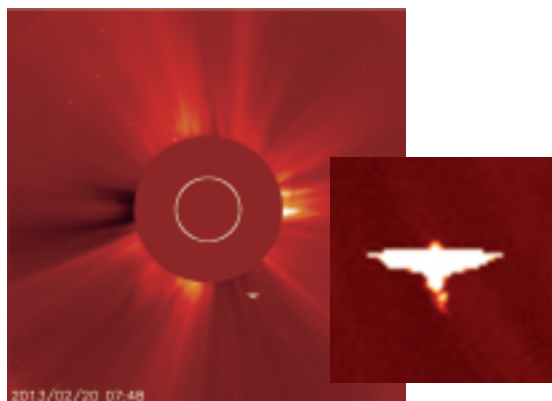


↑ 2012年5月、フランス、ボルヴィック上空

時代の徴

マイトレーヤは1977年11月のメッセージで、「徴を求めるものはそれを見つけるだろう」と語った。それ以来ずっと、ますます多くの奇跡的現象——マイトレーヤや覚者方の様々な顕現、光の十字架、癒しの泉、涙を流すアイコンや像——が世界に^{あふ}溢れた。

1988年5月にマイトレーヤの側近は「マイトレーヤが世界に臨在されるという徴はますます多くなるだろう。マイトレーヤは人間の頭では決して理解できないような出来事を世界中に溢れさせるだろう」と述べた。



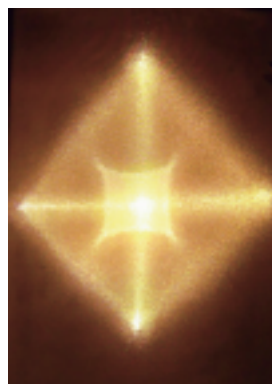
↑ 2012年12月下旬、NASAのカメラに収められたデーヴァまたは天使が、2013年2月下旬に再び前回に近い場所でフィルムにとらえられた。ベンジャミン・クレームの師は、NASAで再びとらえられたこの姿は、12月に撮られたものと同じであると確認した。



↑ スペイン、バルセロナで洗面所の鏡の上に現されたマイトレーヤ御自身の3次元の手形。癒しと助けを喚起できる。



← アメリカ、フロリダのガラスの壁に現れたマリア像



→
2012年8月、ロシア・クラスノダールの光の十字架
(S誌2012年12月号)

史上最大の出来事

大宣言の日

「もうすぐ、世界が待望するお方は出現して、御自身をすべての者の視野の中に現されるだろう……マイトレーヤは、貪欲のギャンブルのカジノである株式市場の崩壊を合図として使うだろう。その時、彼は公に世界の舞台に入ってこられ、そして正義と自由、分かち合いと良識を訴えるだろう」

（『覚者は語る』 混乱の終りより）

十分に大勢の人々がマイトレーヤのメッセージに反応するとき、人々は世界のメディア・ネットワークに対して、大多数の人々に彼の考えをもっと十分に伝えることができるように彼を呼んで話をさせることを要求するでしょう。その時、世界のテレビネットワークが衛星で連結されるでしょう。これは私たちの人生で最も途方もない出来事であり、その規模において比べるものがない、歴史上で最大の比類ない出来事となるでしょう。

「大宣言の日」は、メディアによってあらかじめ告知されるでしょう。人はその時間にテレビのチャンネルを合わせ、マイトレーヤの顔をテレビの画面に見るでしょう。テレビ中継はこの出来事のために存在するのであり、それによって史上初めて、世界教師が、教会や聖職者の仲介を必要とせず、すべての人間に語りかけることができるのです。

マイトレーヤは全知・遍在です。彼はすべての人間と思念伝達（テレパシー）の交信を確立し、それぞれの人が、自国語で、心のうちに彼の言葉を聞くでしょう。これは2,000年前にパレスチナで本当に起こった出来事の再現であり、ただ今回はそれが世界的規模で起こるのです。

彼は世界の歴史について短く説明し、私たちがやって来た途方もないレベルから、私たちが落下した墮落への経緯を紹介するでしょう。私たちに変化を促し、未来への展望で私たちを鼓舞するでしょう。これまで誰も世界に提示したことのない未来、この地球がこれまで見た中で最も素晴らしく、美しく、途方もない輝きに満ちた文明について語るでしょう。

……彼の思いが伝えられている間に、マイトレーヤのエネルギー、愛のエネルギー（キリスト原理）が途轍^{とてつ}もない強さで流れ出るでしょう。「それはあたかもわたしが全世界を抱きしめるかのようであろう。人々は肉体的にすらそれを感じるであろう」と、彼は言われます。

これは、マイトレーヤのメッセージに対する直観的な反応を呼び起こすでしょう。外^ち的な物質界では、何千人もの自然な奇跡的治癒^{ちゆ}が地球全体で起こるでしょう。これらの方法で、この人物がキリストであり、イمام・マーディであり、クリシュナであり、メシアであり、マイトレーヤ（弥勒菩薩^{みろくぼさつ}）であることが知られるでしょう。あるいはどのような名前も付けず、世界教師であると知るでしょう。

（『大いなる接近』より）

「大宣言の日」における人類の体験がどんなものであるかを、 クレームの師である覚者は次のように描いておられます。

「その特別の日に思考が放送されたのを、以前に聞いたことのある人間はどこにもいないだろう。人間が彼らの神性への呼びかけを、地上における彼らの存在へのチャレンジ（挑戦）を聞いたことはかつてないだろう。その貴重なひとときの間、各人が一人ずつ、^{げんしゆく}厳粛に、独りで、自分の人生の目的と意味を初めて知り、幼年時代の恵みを、自我欲に汚されていない思考の純粹さを、新たに経験するだろう。その貴重な数分の間、人間は大生命（いのち）のリアリティ（実相）に完全に参加することの歓びを新たに知り、遠い過去の記憶のように、お互いがつながり合っていることを感じるだろう……

突然、人間は今までの自分たちの人生が薄っぺらなものであり、人生を貴重なものにするすべてのこと——同胞愛や正義、創造性や愛——が大多数の者にとって欠けていることを悟るだろう……^{つつ}慎ましい感謝と良きものへの切望のうちに、人間の涙が静かに流れるだろう。

その時以後、新しい神聖の気がこの地球全体にみなぎるだろう。人はしばらくの間、忍び足で歩くだろう」

（ベンジャミン・クレーム著『人類の目覚め』本文より）

新しい世界

マイトレーヤの出現であなたの未来が変わる

優先順位の立て直し

「今日、人類は大きな抑圧のもとに生活しているために、日毎に世界的規模で起こっている変換を感知することができるのはほんの少数の者たちだけである。変化への動きのはずみはつき、何ものもそれを止めたり、逸脱^{いつだつ}させることはできない。かくして、世界は、全く新しい文明の創造の準備として、再生と浄化、そして苦しみを経ている。

新しい文明は過去の土台の上に築かれるのだが、当然のことながら、古きものの多くが現状のままでは腐敗し役に立たず、一掃^{いっそう}されなければならない。見る目を持つ者にとっては、新しい徴候^{ちようこう}はすでに明らかである。今日どこへ目を向けても、変化に伴う成長の苦しみをすべての者が感じている。

この状況の中に、キリストはやって来られた。危急^{ききゅう}の時にあたって、人類を助けたがっておられる。彼が助けることができるのは疑うべくもないが、しかし人間が彼の提唱する変化を欲し、そして彼ら自身の自由意志でそれらを実施しなければならない。人間に強^しいられることは何もないし、押しつけられることは何もないだろう。そうでなければ、法が犯されることになるから。

病^やんでいる世界が叫び求めている処置——分かち合いと正義、協力と法の統治^{とうち}の採用——を同化していく人間の能力によって、変化の速度は条件づけられる。かくしてのみ、初めて人はすべての国民が切望する平和を見いだすことができる。

人間の仕事を助けるために、キリストは一定の優先順位を定められた。それが実施されるならば、均衡と秩序が確立され、それによって調和^{つく}が創り出される。平和と福利はこの調和の上にかかっている。これらの優先順位は単純であり、自明である。しかるに、それがある程度まで存在するところは現在どこにもない。列举してみれば、それはあらゆる男女や子供の基本的な必要^みを充たすものである。第一の優先は、正しい食物の適切な供給である。第二に、すべての者のための適切な住宅と宿である。第三に、普遍的権利としての健康管理と教育である。

これらが安定した世界のための最小限の必要条件であり、これを保証することが、すべての政府の主要な責任となるだろう。それは単純であるが、実際に開始されるとき、

広範囲の影響をもたらすだろう。そしてこの地球に新しい時代を招き入れるだろう。

今日、多くの国家が優先しているものの中に、戦争のための武器の製造が不気味な比重を占めている。今後は、優先順位が改められなければならない。そして現在、防衛のために譲^{ゆず}られている資源を確保しなければならない。

これが行われる時、大いなる歓喜の創造的波がこの惑星中^{おお}を覆い、すべての国々の人民はこれに反応するだろう。協力と分かち合いが日常のこととなり、至るところにいる人間が生活の中に新しい目的と意味を見いだすだろう。マイトレーヤは助言し、導くために臨在^{りんざい}されるだろう。そして彼の賢明な指導の下に、世界は新しく創^{つく}り直されるだろう。その時は今すぐ手元に存在する」

（『覚者は語る』1989年1月）

来るべき時代の目標と可能性

来るべき時代には人類の目標は、集団意識、全体の一部分として欠くことのできない存在感の創造となるでしょう。宝瓶宮^{アクエリアス}の星団からこの惑星に入って来る新しいエネルギーはこの方向に働きます。それに固有の特質は、統合、普遍性^{ふへんせい}です。

病の終焉

今日世界にある肉体的病気の多くは、心的原因——分裂した社会や世界に固有の緊張や恐怖や無理——によるものです。マイトレーヤと覚者方の出現は世界の緊張を減じ、大きな安堵感をもたらすでしょう。未来への真の希望が与えられると、人類の一般的な健康は改善されるでしょう。

死の恐怖からの解放

最も深遠な変化は、われわれの死に対する態度に起こるでしょう。人間は死を恐れなくなるでしょう。

人類は再生誕^{さいせいたん}の法則を受け入れ、理解するようになるでしょう。肉体の死は、新しい、より自由な存在への移行であり、魂が転生の長い旅路^{おのれ}の中で己自身を物質界に反映させるために、次々とその乗り舟である肉体をつくりかえるのです。

光のテクノロジー

光のテクノロジーは、医療のやり方を変えるでしょう。医者たちがこのテクノロジー

を治療に使う訓練を受けるようになると、もはや薬や手術は必要でなくなるでしょう。やがて、最も深刻な状態であれ、数時間で治療できるようになり、それほど多くの病院は必要ではなくなるでしょう。

科学者たちが光線を開発するにつれて、肉体脳ではなく心（マインド）自体の内部にも入り込むことができるようになります。科学者たちは光のテクノロジーを利用して頭脳の特定の部位に焦点を当てることによって、麻薬常習を解消する方法を宇宙の兄弟たちにすでに教えられています。

光のテクノロジーを通して、人類はエネルギー源を太陽から直接、無尽蔵^{むじんそう}に得ることが出来るようになり、誰もそれを独占することは出来ないでしょう。この途方もない科学が、全く音のしない、速くて乗っているうちに疲れが癒^{いや}されてしまうような交通機関の発達など、人類の生活を一変させてしまうでしょう。

日本の役割

ベンジャミン・クレームの師である覚者は、次のように語っています。

「日本においてここ数世紀来初めて“将軍の法則”（権力者の法則）に代わって生命^{いのち}の法則が優位を占めるだろう。日本は、いかにして生活の要求を簡素化し、国民の必要を満たしてゆくかを世界に示すだろう。犠牲^{ぎせい}の法則が行き渡り、日本人は犠牲の法則を通して世界に道を示すだろう。彼らの霊的基盤に基づく古くからの生活様式が再び取り戻され、現在の混沌^{こんとん}とした商業主義は、すべての人の必要が満たされる、より良い、より公正な経済に道を譲るだろう。これが世界にとっての青写真となるだろう。

変革に進んで参加しようとする日本人の素質は先進諸国にとってのインスピレーションとなるだろう」

マイトレーヤの教え

【1988年4月以来、ロンドンのアジア地区でマイトレーヤの側近として働く一人から、ロンドン在住の二人のジャーナリストに定期的に連絡が取られ、マイトレーヤからの一連の教えや世界の出来事の予測や分析が伝えられた】

(『いのちの法則』より)



万民すべてへのメッセージ

マイトレーヤは言われます、「わたしは新しい宗教を創始するために来たのではない。あなたたち一人ひとりが自分たち自身の宗教的伝統の中で成長し続けるべきである。わたしは信奉者をつくるために来たのではない。あなたたちがわたしを見る時が来ても、わたしの後を追いかけてはいけない。もし、わたしを追いかけるならば、わたしを見失うだろう」。「わたしはあなたたちに自己（真我）を実現する術を教えに来たのである」。マイトレーヤはこれがイデオロギーでも宗教でもなく、あらゆる宗教の人々を、そして宗教を持たない人々すべてを益するものであることを指摘されます。それゆえにマイトレーヤは言われます、「わたしはすべての人々に属するのである」と。

自己（^{しんが}真我）実現

「真我のみが重要である」。あなたはその真我であり、「不滅の霊存在である」。苦しみは真我ではないものと自分を同一認することによって生じるのです。自分自身に問いなさい、「私は誰か」と。自分を物質（肉体）あるいは思考（マインド）あるいはパワー（生氣）と同一認していることに気づくでしょう。しかしあなたはそのいずれでもありません。「心（マインド）と生氣（スピリット）と肉体は主の宮殿である」。真我はこれらの中に「主の至高の存在と生成」を実現する。存在（Being）は永遠であり、生成（becoming）は時間と空間の中で展開していく。真我はその両方を経験するのです。

執着

もし、あなたが自分自身を真我として理解しないならば、肉体や心（マインド）や生氣（スピリット）に執着してしまいます。もし、あなたが肉体に執着すれば、物質欲と官能的満足への欲求に限りがないことを知るでしょう。貪欲はさらに増し、追求は続き、満足感はいつもあなたからすり抜けるでしょう。もし、あなたが心（マインド）に執着すれば、思考の構成やイデオロギーや「イズム（主義）」の中にがんじがらめになり、それに終わりはないでしょう。追求すればするほど、遠くまで行けば行くほど、発見すればするほど、さらに未知の領域があるでしょう。事実、あなたはこの中で自分を失ってしまいます。あなたは満足感を得ることができないのです。もし、あなたが生氣（スピリット）、つまりパワーに執着すれば、オカルティズムとかスピリチュアリズム（心靈主義）などのような一連の「イズム（主義）」を経由して決して完全に理解することのできない領域をかじるでしょう。かじるということは誤用することを意味すると、マイトレーヤは指摘されます。

イエスはパワー（生氣）の誤用を警告されました。マイトレーヤは言われます。

「たとえそのようなパワーに出会っても、たとえそのようなパワーがあなたの中に開発されたとしても、それに執着してはいけない。それを所有しようとしてはいけない。もしそうするならば、それはあなたを減ぼすだろう。それはあなた（真我）ではない」と。

正しい関係

もし、あなたが本来の自分ではなく他人の後に従うならば、あなたは自分の輝きを失います。個性の光を反映することはできません。その光なしには、人生における進歩はありません。同様に、あなたが裡なる真我を体験して、自分が心や生氣や肉体とは全く分離した不滅の靈存在であることを知るようになるとき、あなたはこれらの主の宮殿を創造的に、自覚（認識）を持って利用することを学びます。治癒の過程は自動的にそれに従います。それゆえマイトレーヤはエイズに雇った人でさえ、祈りを通して、そして正直な心と誠実な生氣と無執着を実践することを通して、治癒を体験すると言われたのです。

執着を放すことなしに、救済はないのです。マイトレーヤが新たに授けられた「新しい時代の祈り」は、心や生氣や肉体から分離している裡なる真我を人々に体験させてくれます。

心（ハート）から心（ハート）へ人々は尋ねます、「どのように始めたらよいか。どのようにして誠実さを実践すればよいのか」。例えば、「腹を割って話をする」という表現を考えてみてください。これは何を意味するのでしょうか。あなたが本来のありのままの自分を表現することを、中心から——あなたの中心から——ハートから、交信することを意味します。これを実践しなさい。それはあなたとあなたの周りにいる人々を変容させるでしょう。

あなたが一つのことを考えながら、別のことを言い、そしてさらに違ったことを行うとき、あなたは失われます。心（マインド）の正直さは正直な言葉と正直な行動につながります。この調和が平安と幸せにつながるのです。

新しい時代の祈り

わたしは宇宙の創造主である。

わたしは宇宙の父にして母である。

すべてがわたしから来る。^{きた}

すべてがわたしに^{もど}戻る。

心と^{せい き}生氣と肉体はわたしの宮殿である。

^{しん が}真我はその中に、

わたしの^{し こう}至高の存在と^{せいせい}生成を実現する。

世界への奉仕

伝導瞑想——21世紀のヨガ

伝導瞑想は、人のため世のために何らかの役に立ちたいと願う人々にとって、最も容易に行える最大の奉仕の手段です。毎週数時間を伝導瞑想に費やす行為が、人類とこの惑星全体に計り知れない大きな効果をもたらします。

伝導瞑想は、集団瞑想の特別な形態です。ハイアラキーの覚者方から送られてくる霊的エネルギーは、そのメンバーが肯定的な安定した回路として働くことで、グループを通して一段と波動が下げられ、より使用可能なものとなって、世の中に送られます（たとえば言えば、高圧の電力が変圧器を通して一般家庭で使用可能な電力となるのと同じです）。



専門的知識も経験も必要ありません

人間がエネルギーを伝導することは、むしろ最も自然なことです。一つの集団としての人類の目的は、上位の王国からのエネルギーを下位の王国へ伝導することであり、それによって動・植・鉱物界を育み、進化を刺激するのです。

必要なことは、世界に奉仕したいという真剣な願いと、毎週、同じ時刻に同じ場所に規則的に集まる決意です。志を同じくする友人数人を誘い、都合の良い日と場所を決め、それを守ることです。すると、その時刻にグループが伝導を行うために必ず集うことを、ハイアラキーは知り、当てにするようになるのです。

瞑想のやり方

単に頭脳と魂を整列させることであり、これは意識（注目）を眉間の中央に軽く集中させ、そこに保持することによって可能になります。エネルギーは、魂を通して肉体のチャクラ（エネルギーセンター）に流されるので、魂との整列が最も大切です。

そうしてハイアラキーの霊エネルギーに呼びかけるために、グループのメンバーは一緒に、大祈願を声に出して、心を集中させて唱えます。そうすることによって、ハイアラキーの覚者からただちにエネルギーが送られてきます。

伝導瞑想は、個人が行っているその他の瞑想や宗教的、精神的習慣の妨げとならず、

むしろエネルギーは個人のチャクラを通過して伝導されるので、チャクラは刺激され、活動は活発化し、波動はより高まるので、知らず知らずのうちにその人自身が非常に急速に霊的成長を遂げずにはおられません。

カルマ・ヨガ（奉仕）とラヤ・ヨガ（エネルギーのヨガ）の組み合わせである伝導瞑想は簡単で、非常にダイナミックで、途方もなく重要な奉仕の仕事です。世界中に巨大な光のネットワークがマイトレーヤによって魂のレベルでつくられており、伝導瞑想のグループはこのネットワークに連結されています。

大祈願は、いずれの宗教宗派にも関係のない、世界の祈りであり、呼びかけです

1945年6月にキリスト・マイトレーヤはこれをお使いになり、人類に授けられました。世界を変え、マイトレーヤとハイアラキーの覚者方の降臨を可能にするエネルギーを、人類自身が呼び起こすことができるように与えられたのです。多くの言語に訳され、今日、世界中のすべての国で使われています。



伝導瞑想風景。中央の器具はテトラヒドロン

大祈願

神の御心の光の源より

光をあまねく人の心に流れ入れさせ給え
光を地上に降らせ給え。

神の御心の愛の源より

愛をあまねく人の心に流れ入れさせ給え
如来（キリスト）よ、地上に戻られ給え。

神の意志、明らかなる中心より

大目的が人の貧しき意志を導かんことを
如来は大目的を識り、これに仕え給う。

われらが人類と呼ぶ中心より

愛と光の大計画を成させ給え
悪の棲処の扉を封じ給え。

光と愛と力とをもて

地上に大計画を復興をさせ給え。

さらに詳しい情報をお求めの方へ

ベンジャミン・クレームの著書

『マイトレーヤ かくしゃがた こうりん 世界教師と覚者方の降臨』

ベンジャミン・クレーム著／石川道子訳



ベンジャミン・クレームはこの最初の著書で、いま明けようとしている
新しい時代の世界教師マイトレーヤ（キリスト）の出現に関する背景と関
連情報を提供している。あらゆる宗教グループによって様々な名称で待
望されてきたマイトレーヤは、われわれが多くのイデオロギー派閥の間で
協力を創造するのを助け、世界の善意と分かち合いを喚起し、広い範囲
にわたる政治、社会、経済、環境面の改革を鼓舞するためにやって来ら
れる。ベンジャミン・クレームは、過去2000年間で最も深遠な出来事を
その正しい歴史的、秘教的な文脈の中でとらえ、世界教師の存在が世界
の諸々の制度機構および平均的な人の両方に対してどのような影響を与

えるかを描写している。クレームは智慧の覚者とのテレパシーによる接触を通して、魂と輪廻転生、
死の恐怖、テレパシー、瞑想、核エネルギー、古代の文明、UFO、開発途上国世界の問題、新経
済秩序、反キリスト、“最後の審判”などについて洞察を提供している。

初版1979年、改訂版1998年／2014年 B6判／378頁

『大いなる接近 ——人類史上最大の出来事——』

ベンジャミン・クレーム著／石川道子訳



この予言的な書は、われわれの混沌とした世界の問題に焦点を当て、世
界教師マイトレーヤと一緒に98,000年ぶりに世界に公に戻って来ようと
している完璧なる方々の一団、つまり智慧の覚者方の影響のもとで徐々
に変化していく世界を描いている。

本書が網羅している話題には、困惑のアメリカ、民族紛争、犯罪と暴
力、環境と汚染、遺伝子工学、科学と宗教、光の特性、健康と治療、
教育、奇跡、魂と転生などがある。

この書は途方もない智慧の統合であり、未来にサーチライトを投射し
て、明確なビジョンをもって、われわれが達成する最高の業績と、前方
に横たわる驚嘆すべき科学的発見を明らかにする。戦争は過去のものとなり、すべての人間の必要
が満たされる世界がわれわれに示されている。

初版2001年、B6判／448頁

『マイトレーヤの使命 第1巻』

ベンジャミン・クレーム著／石川道子訳



世界教師マイトレーヤの出現と教えについて説明した三部作の最初の作品である。人間の意識が着実に成熟するにつれて、今や古代の「神秘」の多くが明かされようとしている。本書は、進化の旅路を歩む人類にとっての手引書と見なすことができる。キリストの新しい教えから瞑想やカルマに至るまで、死後の生命と輪廻転生から治療や社会変革、イニシエーションと奉仕の役割から七種光線、そしてレオナルド・ダ・ヴィンチやモーツァルトからサティア・サイババに至るまで、この本が網羅する範囲は広大である。本書は世界教師マイトレーヤの仕事のために、そしてすべての者にとっての新しいより良い生活の創造のために、背景状況を説明して道を整えている。本書は力強い希望のメッセージである。

再改訂版1998年、A5判／432頁

『マイトレーヤの使命 第2巻』

ベンジャミン・クレーム著／石川道子訳



この心を鼓舞し温めてくれる本は、黄金時代の入口にあって苦悩している世界に新たな希望と手引きを提供している。本書は世界教師マイトレーヤの教えを、外的な実際のレベルと内的な霊的レベルの両方において提示している。世界の出来事についての比類なく正確な予報は国際的なメディアを驚嘆させ、奇跡的な顕現は何千もの人々に希望とインスピレーションをもたらしている。本書はベンジャミン・クレームの覚者との一連の独特なインタビューも収録しており、それは人類が直面する最大の問題の幾つかに光を当てるものである。

本書はとてつもなく広い範囲を網羅している。マイトレーヤの教え、意識の成長、新しい統治形態、商業至上主義と市場のフォース、分かち合いの原則、新しい時代、壁のない学校、光のテクノロジー、ミステリーサークル、真我、テレパシー、病気と死、エネルギーと思考、伝導瞑想、魂の目的などである。また、「恐怖心の克服」や「奉仕への呼びかけ」に関するベンジャミン・クレームの啓発的な講話の内容を編集したものも含まれている。

改訂版1998年、A5判／768頁

『マイトレーヤの使命 第3巻』

ベンジャミン・クレーム著／石川道子訳



ベンジャミン・クレームは心躍るような未来のビジョンを提供する。世界教師マイトレーヤとその弟子たち、つまり智恵の覚者方が公に導きを与えてくれるため、人類はその神聖な潜在能力に値するような文明を創造するだろう。平和が確立され、世界の資源の分かち合いが普通のことになり、環境を維持することが最優先事項になるだろう。新しい教育は魂の事実と意識の進化について教えるだろう。世界の都市は偉大な美のセンターへと変容するだろう。

この本は広範囲な話題に関してこうした貴重な智恵を提供する。それには将来に向けたマイトレーヤの最優先事項や、「21世紀の挑戦」についての智恵の覚者とのインタビューも含まれている。カルマと輪廻転生、人類の起源、瞑想と奉仕、進化の大計画、不朽の智恵の教えの基本的な概念などが本書で探求されている。画家でもあるベンジャミン・クレームが——レオナルド・ダ・ヴィンチ、ミケランジェロ、レンブラントといった——10人の巨匠を、秘教的で霊的な観点から評論する興味深い講話の内容が収録されている。

本書は『マイトレーヤの使命』シリーズの最初の二冊のように、深遠な霊的真理と、今日最も頭の痛い問題に対する実際的な解決策とを組み合わせている。本書はまさしく、「この世界がかつて見たこともないような文明の創造を始める」用意の出来た人類にとって、希望のメッセージとなっている。

初版1997年、A5判／704頁

マイトレーヤからのメッセージ

『いのちの水を運ぶ者』

ベンジャミン・クレーム伝／石川道子訳



マイトレーヤは御自身の出現に向けた準備期に、1977年から1982年まで、ロンドンでのベンジャミン・クレームの公開講演会のときに、彼を通して140信のメッセージを伝えた。使用された方法はメンタル・オーバーシャドウと、それによって確立されたテレパシー（思念伝達）であった。

分かち合い、協力、和合を訴えるマイトレーヤのメッセージは、読者に対して、彼の再臨のニュースを広め、そして豊かな世界で貧困や飢餓のために苦しんでいる何百万もの人々の救済に緊急に取り組むことを鼓舞する。マイトレーヤはメッセージ第11信で次のように述べている。

「あなたがたを取り巻く問題を切り抜ける道は、あなたがたの心の裡なる神のまことの声に再び耳を傾けることであり、この世の豊かな産物を世界中すべての兄弟姉妹たちと分かち合うことである。これをあなたがたに示すことがわたしの計画である……」

マイトレーヤのことは、世界が変化するこの重大な時期において、智恵、希望、救済の独特な

源泉となっており、声に出して読むとき、こうした深遠だが単純なメッセージは彼のエネルギーと祝福を喚起する。

改訂初版1999年、B6判／448頁

『いのちの法則』（マイトレーヤの教え）

ベンジャミン・クレーム著／石川道子訳



かつての世界教師の教えは、その存在がある程度知られるようになる以前に与えられたものについてはその断片すらも伝わっていない。キリスト、仏陀、クリシュナの教えは、のちの信奉者の目から見たものしか伝わっていない。計り知れないほど高位の存在者の見解や洞察の一端が伝えられたのは今回が初めてであり、われわれは前途に広がる進化の旅路を理解できるようになった。世界教師はそのような旅路の概略を描くためにやって来られた。大師から受ける印象は、その知識と認識の広がりや深さには限りがないということ、大師は想像を絶するほど寛容で賢明であるということ、そして驚くほど謙虚であるということである。

本書を読んで内奥の変化を経験しない人はいないであろう。世界の事象に対する途方もなく透徹した洞察に大きな関心を抱く人もいるだろうし、自己実現の秘訣の明示、体得された真理についての簡潔な描写に啓示を受ける人もいるだろう。“いのちの法則”を理解することを願うすべての人にとって、こうした精妙で含蓄の深い洞察を通していのちの本源へと導かれ、山の頂きへと伸び広がる単純な道へと導かれるであろう。すべての生命の本質的な一体性が、明瞭で味わいのある方法で強調されている。われわれの生活を支配する法則がこれほどまで自然で伸びやかに見えたことはこれまで一度もなかったように思われる。

初版2005年、B6判／400頁

『協力の術』すべ

ベンジャミン・クレーム著／石川道子訳



本書は現代の最も切迫した問題と、不朽の智慧の教えの観点から見たその問題の解決策について論じている。この教えは数千年もの間、外的世界の根底にあるフォース（エネルギー）を明らかにしてきた。ベンジャミン・クレームはこうした教えを現代へとよみがえらせ、世界教師マイトレーヤと智慧の覚者方の一団の間近に迫った出現のために道を整えている。マイトレーヤはこのますます高まっている認識をわれわれの中に鼓舞しようとされるだろう。

本書は、大昔からの競争の中になんじがらめになり、古くて役に立たない方法でそれらの問題を解決しようとしている世界を見る。問題解決の答え——協力——は、われわれの手の中にある。すべての生命の根底にある和合の大切さをます

まず認識することを通して、正義と自由と平和の世界への道を示す。

本書で扱う話題には、協力の必要性、アメリカ合衆国と競争、有機体と組織体、奉仕の機会、失うことへの恐れ、カルマ、愛、勇気と無執着、グラマーの克服、覚者方の教え方、多様性の中の和合、合意、信頼などが含まれる。

初版2002年、B6判／358頁

『生きる術^{すべ}』

ベンジャミン・クレーム著／石川道子訳



二人の智恵の覚者方、つまりジュワル・クール覚者と、とりわけベンジャミン・クレーム自身の師である覚者の著作に刺激を受けて、本書の第一部は、絵画や音楽のような芸術の一形態として「生きる」という経験が考察されている。高度な表現レベルに達するには、特定の基本的原則についての知識と遵守が必要とされる。生きるという芸術^{アート}（術）においては、原因と結果の大法則とそれに関連した再生誕の法則を理解してこそ、われわれは他者に害を与えない落ち着いた生活を実現し、それが個人的な幸せや、正しい人間関係、すべての人間にとっての、進化の旅路における正しい道へとつながっていく。

第二部「相対立する二極」と第三部「イリュージョン（錯覚）」では、人間が自分の内面においても外的な生活においても、限りなく続くように思われる苦闘を経験するのは、人間が進化計画の中で独特な位置——霊と物質が出合う地点——にあるからだと示唆される。イリュージョンの霧を脱出して、自分自身の二つの様相を一つの完全なる全体へと統合させる手段は、ますます無執着になり客観的な自己認識を高めながら、人生そのものを生きることにある。

初版2006年、B6判／352頁

『全人類のための世界教師 ——重大な惑星的出来事——』

ベンジャミン・クレーム著／石川道子訳



98,000年の時を経て可能となった偉大な教師方の出現と、この惑星的に重大な出来事から派生する多くの効果、彼らが人類に示す将来にわたる計画、優先事項や勧告について本書は明らかにする。

巨大な宇宙のアバターとして、世界教師マイトレーヤは二つの行動路線の間の単純な選択を示すだろう——その彼の助言を無視して現在の生活様式を続け自己破壊に^{おちい}陥るか、勧告を喜んで受け入れて、平和で幸せな将来を保証する分かち合いと正義のシステムを開始し、その結果として人間の内的神性に基づいた文明を創造するか……。

初版2007年、B6判／224頁

『多様性の中の和合 — 新しい時代の政治形態 —』

ベンジャミン・クレーム著／石川道子訳



本書は、あらゆる男女や子供の未来についてである。それは地球自体の未来にも関わる。人類は今、岐路に立っており、大きな決断をしなければならないと、クレームは語る。その大きな決断とは、われわれが前進し、すべての者が自由で、社会的正義が支配する輝かしい文明を築くか、あるいは現在のように分裂と競争に満ちたあり方を続け、惑星地球のあらゆる生命の最後を見るのかについての決断である。

クレームは、地球の霊ハイアラキーのために、すべての人類の安寧のための大計画について言及している。われわれすべてにとっての前進の道は、われわれの本質的な多様性を犠牲にすることなく、同様に本質的な和合を認識することであることを、諸国家の果たす様々な役割を示しながら明らかにしている。

初版2012年（初版）B 6判／270頁

『人類の目覚め』

ベンジャミン・クレーム著／石川道子訳



世界教師マイトレーヤが公に御自身を人類の前に現して、全人類と同時に語りかける日、「大宣言の日」における人類の体験がどんなものであるかを、クレームの師である覚者が感動的に描かれる。「その特別の日」に思考が放送されるのを、以前に聞いたことのある人間はどこにもいないだろう。彼らの神性への呼びかけを、彼らが地上に存在することへのチャレンジを聞いたことはかつてないだろう。そのひとときの間、各人が、それぞれに厳粛に、独りで、自分の人生の目的と意味を知り、幼年時代の恵みを、自我欲に汚されていない志向の純粹さを、新たに経験するだろう。これらの貴重な数分の間、人間は大生命（いのち）のリアリテイ（真相）

に完全に参加することの歓びを新たに知り、遠い過去の記憶のように、お互いがつながり合っていることを感じるだろう……突然、人間は今までの自分たちの人生が薄っぺらなものであり、人生を貴重なものにするすべてのこと——同胞愛や正義、創造性や愛——が大多数の者にとって欠けていることを知るだろう……慎ましい感謝と良きものへの切望^{みなぎ}のうちに、人間の涙が静かに流れるだろう。その時以後、新しい神聖の気がこの地球全体に漲るだろう。人はしばらくの間、忍び足で歩くだろう——本文より

初版2008年、B 6判／252頁

叡知の種 『覚者は語る』



ベンジャミン・クレーム伝／石川道子訳

人類は舞台の背後から、高度に進化した光明ある一団によって導かれている。これらは智慧の覚者方と呼ばれ、進化の旅路をわれわれよりも先に歩まれた方々である。めったに公に世界に姿を現すことはなく、通常、弟子たち——科学、教育、芸術、宗教、政治など人生のあらゆる部門で活躍し社会に影響力を及ぼす男女——を通して働く。

英国の画家ベンジャミン・クレームはある覚者の弟子であり、テレパシーによって密接に連絡を取り合っている。クレームの師である覚者は、クレームが編集長を務める『シェア・インターナショナル』誌に、その創刊号（1982年）以来、人々を奮起させるような記事を毎月寄稿してこられた。その記事は、理性と直観、新しい文明、健康と治療、生きる技、統合の必要、正義は神聖なり、人の子、人権、再生誕の法則、飢餓の終わり、平和のための分かち合い、民衆のパワーの盛り上がり、最も輝かしい未来、協力など、幅広い主題に及んでいる。

これらの記事の主要な目的は、現在および間近な将来の必要について人々の注目を引くこと、さらにすべての覚者方の長であるマイトレーヤの教えについての情報を提供することである。本書には『シェア・インターナショナル』誌の創刊以来22年間にわたる223の記事すべてが収録されている。

初版2004年、B6判／640頁

『光の勢力は集合する ——UFOと彼らの霊的使命——』

ベンジャミン・クレーム著／石川道子訳



第一部で、宇宙の兄弟であるUFOの乗組員と共に仕事をし、彼らのことを内部から知っているベンジャミン・クレームは、UFOの存在は計画されたもので、惑星地球にとって、とてつもない価値のあるものだと論じる。彼らは人類の災難を緩和し、この惑星をさらなる、急速な破壊から守るという霊的使命を遂行しているのである。

第二部では、事実が間もなく明らかになると人類は自己の神性と地球の霊的法に目覚め、分かち合い、正義、自由が基調の協力の時代が始まるだろうことが生き生きと示されている。

初版2010年（初版）B 6 判／352頁

『伝導瞑想 ―21世紀のヨガ―』

ベンジャミン・クレーム著／石川道子訳



伝導瞑想は、霊的エネルギーを“ステップ・ダウン”（変換）することを目的としたグループ瞑想の一形態である。このようにしてそのエネルギーは、一般の人々にとって利用しやすく有益なものとなる。伝導瞑想は、覚者方のハイアラキーと協力しながら、人類の利益のために高度なエネルギーの渦もしくは貯蔵池を創造することである。

覚者の指導の下にベンジャミン・クレームによって1974年に紹介されたこの瞑想は、簡単にできる奉仕の一形態であると同時に、強力な個人的成長の手段ともなっている。この瞑想は二つのヨガ、カルマ・ヨガ（奉仕のヨガ）とラヤ・ヨガ（エネルギーまたはチャクラのヨガ）を組み合わせたものである。それは、「新しい時代」に入るにあたって、そしてその先もずっと、人類の進化を助けているということを知って、生涯にわたって関与することのできる奉仕である。世界中の多くの国で何百という伝導瞑想グループが活動している。

ベンジャミン・クレームはこの実際の啓発的な著書の中で、弟子の発達に向けた瞑想の根底にある目的のほか、伝導瞑想の目標、テクニック、結果も描写している。

改訂三版1997年／再改訂版2015年 近刊、A5判／248頁

心の扉シリーズ ①

『不安感 一挙に乗り越え、自在心』

ベンジャミン・クレーム著／石川道子訳



本書は、人間の感情の中で最も深く破壊的な抑圧的な感情である恐怖心をいかにして克服するか、それを一挙に乗り越える方法があるのか、恐怖や不安から解放されて自在に生きることが可能なのかなどについて、非常に分かりやすく説いている。

『マイトレーヤの使命 第2巻』に収録。

初版2000年、B6判／142頁

心の扉シリーズ ②

『私は誰か 不朽（ふきゅう）の智慧に学ぶ』

ベンジャミン・クレーム著／石川道子訳



人類の霊的遺産についての概観を示し、不朽の智慧の教えを明快で理解しやすく紹介した本である。ベンジャミン・クレームとのインタビュー形式で秘教の基本的な概念を説明する——教えの源、世界大師（教師）の出現、再生誕と輪廻転生、原因と結果の法則、進化の大計画、人間の起源、瞑想と奉仕などを含む。

『マイトレーヤの使命 第3巻』に収録。

初版2000年、B6判／162頁

書籍のお求めは当社へ直接、または全国の書店で入手できます。

（地方小出版流通センター取扱）

当社から直接ご購入される場合は、書籍代金の他に送料が必要です。

シェア・ジャパン出版

〒252-0302 神奈川県相模原市南区上鶴間5-12-10-3

電話／FAX : 042-799-0275

郵便振替口座 : 00100-8-150964

<http://www.sjsh.co.jp>

国際月刊誌 『シェア・インターナショナル』

ハイアラキーの覚者から 毎月寄稿いただくユニークな月刊誌

ベンジャミン・クレーム氏が編集長を務める、国際月刊誌『シェア・インターナショナル』は、新しい時代の思考の二つの主要な流れ、すなわち政治的思考と霊的思考を統合し、現在、世界的規模で起きている政治的、経済的、社会的、霊的变化の底に横たわる統合を示し、この世界をより正しい、慈悲深い線に沿って再建するための実際的な行動を刺激することを意図しています。

シェア・インターナショナル誌は1982年英国で創刊、英語版は世界70 数カ国に読者を持ち、全訳版の日本語版、フランス語、スロベニア語版の他、ドイツ語、オランダ語、スペイン語で抄訳版が翻訳・発行されています。

日本語版は英語版と同様に広告は一切掲載せず、印刷を除くすべての仕事、すなわち執筆、寄稿、翻訳、編集から事務、発送に至るまで、各国同様全国のボランティアが無報酬で行っています。日本語版監修責任者：石川道子



シェア・ジャパン刊
年間購読料 ¥7,000
(送料・税込)

『シェア・インターナショナル』誌の購読申し込み先

シェア・ジャパン

問い合わせ先 tel / fax : 0575-23-5724

郵便振替口座 : 00880-2-75597

口座名 : シェア・インターナショナル

<http://www.sharejapan.org>

<http://www.share-international.org>

発行：2015.9

シェア・ジャパン

〒194-8691 東京都町田郵便局私書箱16号

電話 042-799-2915

FAX 042-799-2912

配布者
印

